（様式第３号）

SDGs達成に向けた具体的な取組（要件２）

	カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、併せて記載してください。）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
1	人権・労働		【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本	・【予定】研修会を実施する。 ・【予定】相談窓口を設ける。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
2			【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本	・ハラスメントを禁止する旨を『就業規則』に明記。 ・相談窓口を設置している。総務部での研修実施。 ・【予定】会社全体への研修を実施する。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1	
3			【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本	・2013よりLWB（ﾗｲﾌﾜｰｸﾊﾞﾗﾝｽ）委員会を設置＆継続中。 ・月平均30時間/人の残業削減。　・有給取得率UP中。 ・連続リフレッシュ休等の取得。　・年間休日数UP中。 ・勤務間インターバル制度を導入し『就業規則』にも規定。								8.5 8.8									
4			【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本	・【該当しない理由】現状では外国人の社員がいない。 ・【予定】外国人を雇用する際には、適切な処遇と労働環境の整備を実施する。				4.4				8.7 8.8		10.2 10.3							
5			【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本	・安全衛生推進者の設置。 ・機械および道具類の定期安全点検の実施。 ・【予定】社員向け労働安全衛生講習会を実施する。			3					8									
6			【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本	・【予定】ﾒﾝﾀﾙﾍﾙｽに関する方針と計画を策定する ・【予定】ﾒﾝﾀﾙﾍﾙｽに関する職場の理解を促進するための研修を実施する。			3														
7			【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本	・部長5名中1名が女性。・作業場女性ﾄｲﾚのﾘﾉﾍﾞ。 ・77歳の熟練職人がｴｷｽﾊﾟｰﾄ社員として長年在籍。 ・【予定】女性の雇用を増やせるよう環境を整備する。					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
8			【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本	・資格取得応援制度を設け、『就業規則』にも規定。 ・屋外広告士合格者数13名。（県下№1） ・【予定】新人研修制度整備（マニュアル作成）				4	5.5			8	9								
9			【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本	・正社員、嘱託社員、エキスパート社員という形態があり、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。 ・【予定】子育て中の女性向け等に、短時間正社員という形態も設け、上述同様に公正な待遇を整備する。					5.5			8.5		10.2 10.3							
10			【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ	・県協会けんぽ「健康づくりﾁｬﾚﾝｼﾞ宣言」をしている ・【予定】社員向け健康研修会を開催する。			3					8									
11	環境		【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本	・廃棄物の管理および分別に取り組んでいる。 ・【予定】種類・量など現状を把握し見える化を進め、削減のための計画を策定する。											11.6	12.4		14.1			
12			【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本	・【予定】自社のエネルギー使用量を測定＆記録する。							7.3						13				
13			【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本	・作業場ﾘﾉﾍﾞｰｼｮﾝにより省エネ対策も実施。 ・【予定】自社の温室効果ガス排出量を測定し把握。							7.2 7.3					12.4	13.3				
14			【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本	・有機溶剤の環境測定を定期的に実施し、状況把握している。			3.9			6.3					11.6	12.4					
15			【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本	・有機溶剤等の廃棄処分を適正に行っている。 ・【予定】自然素材の看板等商品を増やす。						6.6									15		
16			【３Ｒの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本	・ﾋﾞﾝﾃｰｼﾞﾋﾞﾙ事業によりｽｸﾗｯﾌﾟ＆ﾋﾞﾙﾄﾞをやめてﾋﾞﾝﾃｰｼﾞﾋﾞﾙ文化への移行を発信している。 ・【予定】看板制作の端材廃材の活用を進める。												12.5		14.1			
17			【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ	・社内のﾄｲﾚを節水型のﾄｲﾚにした（3か所）						6.4 6.6											

	カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、併せて記載してください。）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
18			【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ				3.9			6	7					12	13.3	14	15		
19			【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ													12.6					
20			【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ								7.2						13				
21			【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ													12.2	13	14	15		
22	公正な事業慣行		【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本	・【予定】汚職・贈収賄禁止等を含む「行動規範」を整備し、社内研修を実施する。																16 16.5	
23			【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本	・【予定】不正競争禁止等を含む「行動規範」を整備し、社内研修を実施する。																16	
24			【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本	・デザイン制作等において、著作権等の知的財産を侵害しないよう確認をしている。								8.2 8.3	9								
25			【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	・【予定】「個人情報に対する基本方針」を定めて公表し体制を整備する。																16	
26			【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ																	16	
27			【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ	・【予定】サプライチェーンについてエシカル情報等確認をしてみる。					5			8		10		12	13	14	15	16	17
28	製品・サービス		【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	・屋外広告物の安全点検の呼びかけをしている。 ・【予定】条例改正等について自社顧客以外へも地域の看板所有者への周知活動をする。			3.9									12.4					
29			【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本	・顧客からのクレーム対応など品質を保証する仕組みを構築し実践している。 ・【予定】顧客の声を社内共有する体制の策定。									9								
30			【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ							6						12	13	14	15		
31			【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ	・不動産賃貸市場の新築偏重な量産時代の考え方から、古いものの魅力を価値にかえ事業化する文化創造型のソーシャルビジネスに取り組んでいる。 ・【予定】看板業でも、大きさ派手さを重視した屋外広告物から、景観や環境や安全を重視した屋外広告物への転換を推奨し、地域全体の景観づくりに取り組む。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

		非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、併せて記載してください。）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
32	地域貢献・社会貢献		【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本	・看板制作ノウハウを活かした「ﾋﾞﾝﾃｰｼﾞﾋﾞﾙ創出事業」により地域の新たなｺﾐｭﾆﾃｨづくりに取り組んでいる。 ・長年継続している干支ｵﾌﾞｼﾞｪを地域のﾗﾝﾄﾞﾏｰｸ。				4					9		11	12		14	15		17
33			【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ	・台風19号の際に社員のボランティア活動参加のためボランティア応援制度（有給休暇・応援金）を設けた。 ・【予定】継続的なボランティア活動応援制度の整備。 ・【予定】ボランティアについて学ぶ研修会の実施。				4							11			14	15		17
34			【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	チャレンジ	・【予定】地域資源（自然素材等）を活用した商品開発の可能性を検討する。								8	9		11	12	13				
35	組織体制		【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本	・会社のミッションを明文化し全員が共有している。 ・毎年経営計画発表会を行い目標を共有している。 ・【予定】社会へ発信する存在意義の明文化。								8	9								17
36			【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本	・専門知識のないお客様等からの無理な要望に対応し、起こしたｸﾚｰﾑ等について、徹底的に責任をとり、再発防止を重ねてきたことで遵守する土壌ができた。 ・【予定】経験を体系化して研修を実施する。																16	
37			【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本	・【予定】SDGsの取り組み状況を確認し推進するためのミーティングを定期開催する。																16	
38			【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	基本	・ステークホルダーへのアンケートを実施し、自社の活動が及ぼす影響の把握に努めている。 ・【予定】適宜ｽﾃｰｸﾎﾙﾀﾞｰとの対話の機会を設ける。																16	17
39			【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ																	16	
40			【社会的責任】 ・ＣＳＲ（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ																	16	
41			【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ	・【予定】事業継続計画（BCP）の策定。訓練実施。									9		11		13 13.1			16	
42			【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ									8	9								17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

【記載留意事項】

・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取り組む予定のものにあっても「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。）

・「非該当」欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合にチェックし、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。

・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。

また、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。

（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、信州福祉事業所認証・評価制度、えるぼし認定、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）